

今年是非常事態!

**クマ出没警報 会津・中通り
クマ出没注意報 浜通り
発令中!**
～12月15日

県内人身事故

(10月31日19時 時点)

過去最多20人!

〔人身事故を減らすためにできること10箇条〕

日の出前、日没後の 徒歩での外出は注意!

日中でも鈴など音の出るものを携行し、山間地では隣の家に行く際にも注意が必要です。



通学路や散歩コースの 安全を確認!

クマが潜みやすい雑木やヤブに囲まれている場所がないか確認し、下刈り等で見通しを良くしましょう。



河川敷は 熊の出没ルート!

ヤブなどで見通せない河川敷には、昼夜を問わず絶対に近づかないでください。



犬の散歩時にも 人身事故発生!

散歩ルートや時間に注意してください。外飼いの場合、食べ残しのエサは放置せず処分しましょう。



住宅街や自宅敷地 でも注意!

敷地内や周辺にクマの痕跡がないか確認し、家の外の物音には注意して対応しましょう。



畑、果樹園などの 見回りは車で!

必要に応じて、花火による追い払いも行いましょう。夜間の見回りは止めましょう。



今秋の熊は空腹状態!

カキやクリ、畑の野菜残渣、畜舎の飼料、鶏小屋、倉庫内の米ぬかや穀類が狙われています。戸締まり等を徹底しましょう。



キノコ狩りはリスク高!

たとえ鈴などを携行していても、事故リスクが非常に高いです。



山地や河川作業中も 事故発生!

作業時は花火での追い払い、クマスプレーの携行を徹底してください。



キャンプなど 野外活動も注意!

登山やサイクリング、山間部での観光、散歩には注意してください。事前に周辺の出没状況を確認しましょう。



クマに出会わないためにできること



目撃情報を調べましょう

クマがどこにいるのか知ることが大切です。県警のポリスメールや自然保護課の目撃マップを活用しましょう。情報が得にくい子どもやお年寄りには、家族や周りの方が教えてあげてください。

クマ鈴やラジオなど音のするものを 身につけて行動しましょう

クマの生息している場所では、クマ鈴、ラジオなど音のするものを身につけ、クマに自分の存在を知らせましょう。ヤブや河川敷に入る際は、事前に花火を打つなど追い払いを行いましょう。



クマの目撃マップはこちら



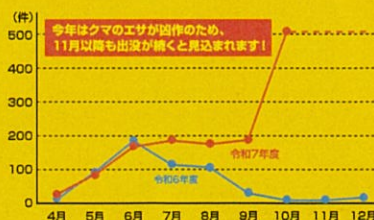
朝夕の登山や散歩、農作業を行う際は、 複数人での行動、クマ鈴等の携帯を徹底しましょう

朝夕はクマが最も活発に行動する時間帯です。朝夕の入山や農作業には十分注意しましょう。

屋外に生ゴミ・野菜・未収穫の果物・ペットフードを 置かないようにしましょう

クマは餌に対する執着が非常に強いです。一度人間の食べ物や生ゴミの味を覚えてしまうと、頻繁に人里へ出没してしまうため、クマの食べ物になるものを置かないようにしましょう。また、畜舎や小屋に侵入し、餌を食べることもあるため、侵入されないよう対策しましょう。

県内クマ目撃件数



(10月29日時点)

福島県自然保護課



クマの出没、人身事故多発中！警戒を！！

ツキノワグマ 出没警報 発令中(会津・中通り)

今年度はクマの目撃件数及び人身被害がすでに過去最多となっている非常事態です。今年のクマは山のエサ不足で腹を空かせています。通常、出没が減少する9月以降も出没数がさらに増加しており、この傾向は今後も続くと考えられます。

1人1人が普段の生活から気をつけることで、人身事故を減らすことが出来ます。

裏面には、事故を減らすための10箇条をまとめました。

今年は通常の年とは状況が異なることを踏まえた行動をお願いします。

区域・期間 会津・中通り地域「ツキノワグマ出没警報」 令和7年9月11日～令和7年12月15日

※浜通り地域においても9月11日～12月15日まで「ツキノワグマ出没注意報」を発令中です。



ここが危険！



クマとの遭遇 多発ポイント

登山や仕事で
の入山



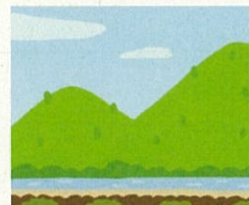
果樹周辺

キノコ採り



農作業・草刈り

河川敷



朝夕の散歩

林縁部や藪付近



納屋・畜舎



クマに出会わないためにできること

1 目撃情報を調べましょう

クマがどこにいるのかが知ることが大切です。

県警のポリスメールや自然保護課の目撃マップを活用しましょう。

クマの目撃マップは
こちら↓



福島県ホームページ

2 クマ鈴やラジオなど音のするものを身につけて行動しましょう

クマの生息している場所では、クマ鈴、ラジオなど音のするものを身につけ、クマに自分の存在を知らせましょう。藪や河川敷に入る際は、事前に花火を打つなど追い払いを行いましょう。

各地方振興局でクマ鈴を貸出します

3 朝夕の登山や散歩、農作業を行う際は、複数人での行動、クマ鈴等の携帯を徹底しましょう

朝夕はクマが最も活発に行動する時間帯です。朝夕の入山や農作業には十分注意しましょう。

4 屋外に生ゴミ・野菜・未収穫の果物・ペットフードを置かないようにしましょう

クマは餌に対する執着が非常に強いです。一度人間の食べ物や生ゴミの味を覚えてしまうと、頻繁に人里へ出没してしまうため、クマの食べ物になるものを置かないようにしましょう。また、畜舎や小屋に侵入し、餌を食べることもあるため、侵入されないよう対策しましょう。

人身事故を減らすためにできること10箇条

1人1人が普段の生活から気をつけることで、人身事故を減らすことができます。
今年は通常の年とは状況が異なることを踏まえた行動をお願いします。

- ① **特に日の出前、日没後には徒歩による外出を控え**、また日中でも鈴など音の出るものを携行してください。山間地では隣の家に行く際にも注意が必要です。
- ② **子供たちの通学路、お年寄りの散歩コースの安全を今一度確認してください**。また、校庭の周囲や自転車置き場が雑木などに囲まれている場合はクマが潜んでいる可能性が高くなります。下刈りや不要な枝を切り落とすなど見通しが利くようにしてください。
- ③ **河川敷がクマの移動ルートや潜み場所になっています**。ヤブなどで見通せない河川敷には昼夜を問わず絶対に近づかないでください。また、河川敷につながる林やヤブも里地出沒のルートになっています。河川との位置関係を考え、隣接する農地などの出入りの際にも十分注意してください。
- ④ **犬の散歩時に人身事故が発生しています**。ヤブや林などで見通しの利かない場所を通るルートは極力避けてください。
またヤブに覆われた小川などに架かっている橋の上も危険なことがあります。これからは涼しいので、なるべく人通りや車通りの多い時間帯に変更してください。
そしてペットも大切な家族の一員です。鎖に繋いで飼っている場合は、クマだけではなくイノシシが襲う事故も発生しています。夜はなるべく屋内で飼養するか、リスクが高い場合は電気柵などで囲うようにしましょう。
また食べ残しのエサは必ず処分してください。ドングリはクマだけではなく、イノシシにとっても重要なエサになっています。今秋は、不作～凶作の地域が多いので、クマだけではなくイノシシにも注意してください。
- ⑤ **住宅や敷地内で物音がしても、不用意に外に出たり、窓を開けて確認したりしないようにしてください**。
また、敷地内に足跡や立木についた爪痕、草を分けたような跡、糞などの痕跡がないか定期的に確認してください。
駐車場での事故も発生しています。車に近づく前に、周辺に潜んでいないか注意するとともに、パンパンと手を叩いてクマに存在を知らせるなどしてください。
- ⑥ 人気のない**畑や果樹園などの見回りの際には車両を使い**、降りる前に周辺の気配に注意し、必要なら花火などで追い払ってから近づいてください。夜間の見回りは止めましょう。キャビンのないトラクターでの事故も発生しています。
- ⑦ **今秋のクマはとにかく腹を空かせています**。とくにカキやクリなどの未利用果樹木、ソバ畑、トウモロコシ畑などの野菜残渣、畜舎の配合飼料、鶏小屋、倉庫内の米ぬかや穀類、ペンキやグリース類などに誘引されます。
またガラス窓を割って室内に侵入する事故も発生しています。カーテンを引いたり、夜間は雨戸などを使ってください。空き家などに潜んでチャンスを伺っていることもあります。戸締りに注意してください。
- ⑧ 今秋の**キノコ狩りはリスクが非常に高く**、たとえ鈴などを携行していても命がけになります。注意してください。
- ⑨ 林道の補修や架線の点検などの**山地作業時**、河川敷の刈り払いや環境調査時にも事故が発生しています。今秋は複数で行動していても事故に遭う可能性が高いと考えられます。最寄りの役場や警察署で周辺の出沒状況を確認し、花火を使つての追い払い、クマスプレーの携行、またリスクが高いと判断されたら中止するようお願いします。
- ⑩ **登山やサイクリング、キャンプなどの野外活動、山間部の名所旧跡での観光、緑の多い公園での散策もリスクが高い**と考えられます。最寄りの役場や警察署で周辺の出沒状況を確認し、やはりリスクが高いと判断されたら中止するようお願いします。